

東北応援ツアー A岩手コース参加
2003年 産業社会学部 卒業 常村佳代

「一度は被災地を自分の目で見なければならぬ。」震災後、ずっと心の中で思いながらも行動に移せずにいたので、今回このツアーを企画していただいて本当に感謝しています。東日本大震災が起きた時代に生きる者として、自分に何ができるのか、これからをどう生きるのかを考えたいと思い、そのヒントをもらえればと参加しました。

新花巻駅に集合しバスで出発し、すぐに車中で自己紹介がありました。全国から集われた皆さんが、それぞれの場所でこの震災に向き合っておられたんだなと胸が熱くなりました。そしてバスから降りて津波で流された場所に立ちました。自分なりに何か感じるものがあるだろうと思っていたのですが、あまりに何もないので以前の状態を知らない私にはリアリティがなく戸惑ってしまいました。夜の勉強会で被災された先輩のお話を聞いて少しずつ大変なことが起こったのだと感じられました。震災直後の混乱した状況や先輩方が協力し合っ
て乗り越えてこられたことをお聞きして、普段からの地域のコミュニケーションの大切を痛感しました。このツアーで岩手県の先輩や参加者の皆さんと出会って、東北が身近になりました。このつながりを大切に被災地のことを自分の生活の中で考えていきたいと思いました。